

(資料)

# 本県が推進すべきワーケーション

令和3年1月15日

山梨県

# ワーケーションのメリット・本県の優位性

## メリット

- ワーケーションは、その関係者に多様なメリットをもたらす可能性。

### 【個人】

WAA(Work from Anywhere Anytime)  
副業・複業  
自律的な働き方(社内個人事業主)  
越境学習  
クリエイティブな環境の確保

### 【企業】

働き方改革  
テレワークの推進・BCP対策  
健康経営・ウェルネスの促進  
優秀な人材の確保・定着施策  
有給休暇取得促進

### 【地域・行政】

交流人口、関係人口の増大  
他個所居住→移住への導線  
空き家・空きオフィス対策  
地域観光事業者の活性化  
地域住民との交流促進

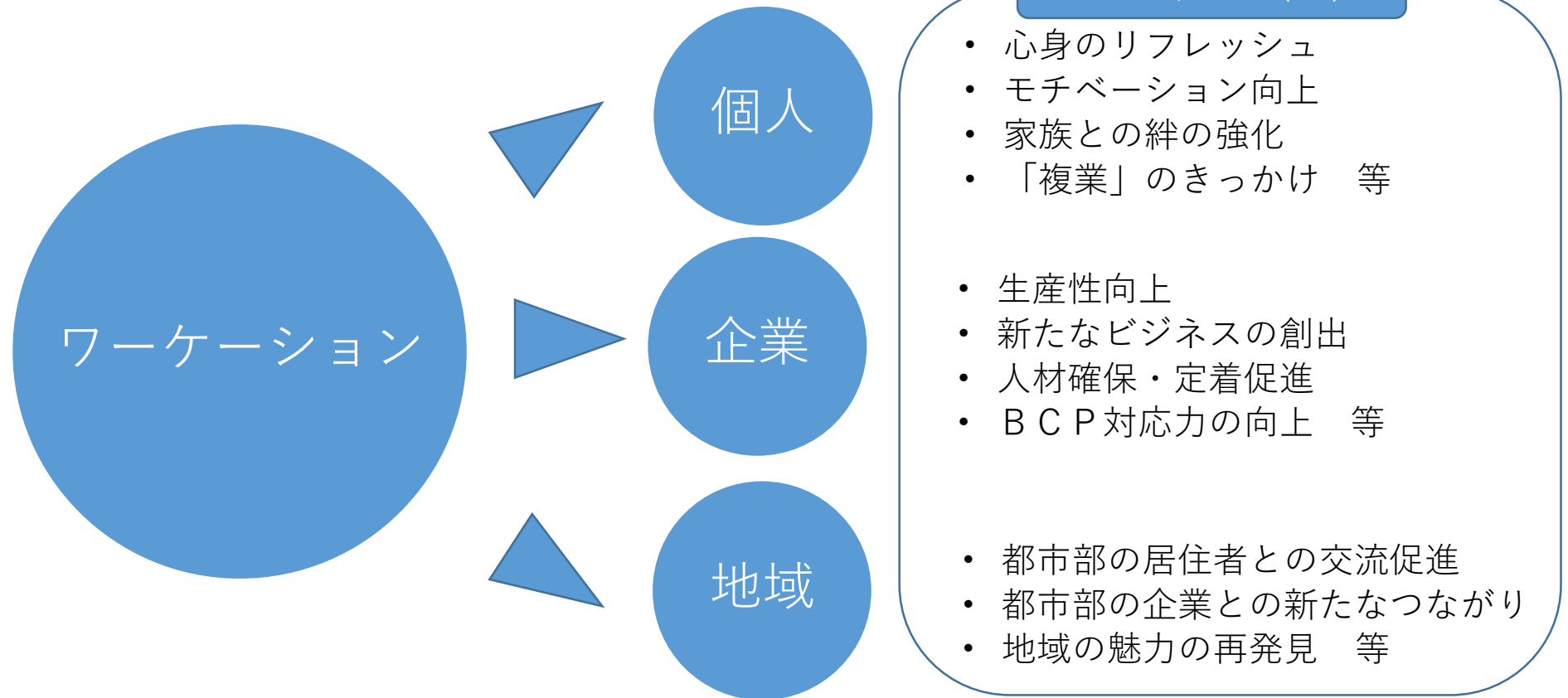
出典：山梨大学田中教授 提供資料を加工

## 本県の優位性

- これまでのワーキングにおける議論を踏まえ、①都市部と気軽に往来できる交通アクセス、②リフレッシュに適した豊かな自然・アクティビティが求められていると想定。
- 以下の諸条件に恵まれた本県は、ワーケーション推進に好適。
  - 首都圏に隣接した立地条件（都心から約90分でアクセス可能で、時間的・費用的負担が少ない）
  - 豊かな自然環境・アクティビティ（山岳、河川、湖沼、森林等のフィールドが豊富）
  - 魅力ある地域資源（食文化、寺社仏閣、特産物等が存在）
  - 潜在的な成長可能性（リニア開業によるアクセスの向上、クリーンエネルギー関連技術の蓄積等）

## “価値創出型”ワーケーション

- 本県の更なる発展のため、多様な資源の掘り起こしや磨き上げにより、あらゆる分野における高付加価値化を図ることが重要となる中で、ワーケーションの実施を通じ、その関係者（ワーケーションを実施する個人・企業、ワーケーションを受け入れる地域）それぞれにおいて、新しい価値が創出され、互いにWin-Win関係が構築されるワーケーションを展開。



# 本県が推進すべきワーケーション

## 本県が推進すべき3種類のワーケーション

- 個人や企業を効果的に誘致し、地域において生まれる新たな価値を、本県の発展につなげるため、以下の3つの観点から、ワーケーションを推進。

	目的	方向性	具体的取組
1	個人単位のワーケーションの促進を通じた将来的な二拠点居住の実現	これまでの議論を踏まえ、具体的に検討。	
2	企業単位・部署単位のオフサイトミーティング等の誘致を通じた将来的な企業誘致（サテライトオフィス等）		
3	新たな観光需要の創出や滞在期間の長期化等による観光産業の収益向上		

- ワケーションを移住・定住へつなげるための第一歩として、観光地におけるワーケーション受入を推進するため、ワーケーション導入促進事業（観光資源課）を先行的に実施しており、明年度以降、この事業の成果・課題等も踏まえながら、個人の二拠点居住推進や、新たな企業誘致（サテライトオフィス等）につなげるための取組についても段階的に実施。

# 地域特性

	エリア	都市部とのアクセス 上段：鉄道 下段：自動車	自然環境	ワーケーションに関連した取組事例
1	中北	新宿駅→甲府駅 約120km・約1時間30分 約120km・約1時間45分	山岳（八ヶ岳等） 高原（清里等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校や保養所をコワーキングスペースとして活用</li> <li>・ 民泊施設を山岳観光やアウトドアレジャーの拠点として活用</li> </ul>
2	峡東	新宿駅→塩山駅 約110km・約1時間20分 約110km・約1時間30分	温泉（石和温泉等） 渓谷（西沢渓谷等） 森林（金川の森等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古民家をワーケーション向け宿泊施設として活用</li> <li>・ 行政機関にコワーキングスペースを併設</li> </ul>
3	峡南	新宿駅→身延駅 約170km・約3時間30分 約150km・約2時間30分	温泉（下部温泉等） 清流（富士川等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古民家を宿泊可能なコワーキングスペースとして活用</li> <li>・ 寺社仏閣におけるワーケーションの受入</li> </ul>
4	富士北麓	新宿駅→河口湖駅 約100km・約1時間40分 約100km・約1時間20分	世界文化遺産富士山 湖沼（富士五湖等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古民家をワーケーション向け宿泊施設として活用</li> <li>・ ホステルと連携したワーケーション受入プロジェクトの推進</li> <li>・ リゾートホテルにおいてワーケーション受入を推進</li> </ul>

# (参考) これまでにいただいた意見の整理①

	項目	具体的取組
共通		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致すべきターゲットに訴求するためのプロモーション</li> </ul>	<p>【個人向け施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住希望者向けの媒体を通じたプロモーション</li> <li>意欲ある人にリーチするための「起業」を切り口としたプロモーション</li> </ul> <p>【企業向け施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内に工場等の拠点を有している企業等のオフサイトミーティングの誘致</li> <li>地方への拠点設置を検討している企業に対するプロモーション</li> <li>ワーケーションを実施しやすい部署（総務・人事等）に対する部署単位のワーケーション実施の提案</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通面の負担軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来県に要する交通費に対する補助</li> <li>MaaSによる二次交通の利便性向上</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーケーション実施者の目的に合致したプログラムの提供</li> </ul>	<p>【個人向け施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域とより深くつながることを求めるニーズに対応し、地域課題の理解や解決につながるプログラムの造成</li> </ul> <p>【企業向け施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の目的（開発合宿、社員研修、持ち出し会議等）に合致したプログラムの造成</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体で面的にワーケーションを受け入れる機運の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーケーションが地域にもたらす多様な効果の周知・浸透の促進</li> <li>ワーケーション関連施設同士のネットワークの構築</li> </ul>

## (参考) これまでにいただいた意見の整理②

	項目	具体的取組
個人単位のワーケーションの促進を通じた将来的な二拠点居住の実現		
1	・ワーケーション実施者と地域コミュニティとの接点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーケーション実施者の地域行事への参加の促進</li> <li>・ワーケーション実施者による地域の困りごと解決の促進</li> </ul>
2	・地域のキーパーソン等（意欲ある経営者、先輩移住者、お年寄り等）との交流機会の提供	・地域住民とワーケーション実施者との交流の場として、コワーキングスペースを活用
3	・コワーキングスペース等で生まれたビジネスアイデアの事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペース利用者が互いのアイデアを交換できる機会の設定</li> <li>・ビジネスアイデアに関する相談態勢の整備</li> </ul>
4	・コワーキングスペースのコンセプトの明確化	・地域の特性を活かし、ターゲットに訴求するためのコンセプトの設定
5	・魅力ある「人」の存在	・地域におけるキーパーソンの発掘・育成
企業単位・部署単位のオフサイトミーティング等の誘致を通じた将来的な企業誘致（サテライトオフィス等）		
1	・企業にとってのメリットの可視化	・ワーケーション導入企業において、実際にどのような効果が出ているかをより広く周知
2	・ワーケーションに対応した人事評価制度の構築支援	・労務管理等に関するガイドラインの例の提示
新たな観光需要の創出や滞在期間の長期化等による観光産業の収益向上		
1	・各地域の特性を活かしたコンセプトの設定	<p>地域におけるコンセプトの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市：利便性を犠牲にせず豊かな自然を堪能できるワーケーション</li> <li>・笛吹市：都市型の温泉地におけるワーケーション</li> <li>・身延町：寺社等を活用したメンタルヘルスの向上につながるワーケーション</li> </ul>
2	・観光と仕事をクロスさせた旅のスタイルの推進	・観光と仕事をスムーズにつなげる仕組みづくり